

志賀潔 （註） 細菌學者、醫學博士。明治三二年十一月十八日陸前國仙臺
 生れ、昭和二年一月二十五日歿（二七〇—九七）。舊姓佐藤。筆名
 貴洋史。明治二十九年帝國大學醫科大學卒。同大附屬傳染病研究所に
 入り北里柴三郎の師事。三十二年赤痢菌を發見。のち一度はドイツ
 ツ留學、エールリツトの下で化學療法を研究。歸國後北里研究所に移
 り、慶應義塾大學醫學部教授、朝鮮總督府醫院院長、京城醫學專門學
 校校長、京城帝國大學醫學部長（昭和四年總長）を歴任。昭和十九年
 文化勳章受章。

著書に『こどもの獨逸』（大正二年十一月二十六日南山堂書店）、『肺
 と健康』（大正三年十月一日三省堂書店）、『エールリツト傳』（再
 版・昭和十六年十月二十日葛山房）、『貴洋史莊閑話』（昭和二十五
 年十月二十五日日本醫學新報出版部）、『ある老科學者とせがれとの
 對話』（昭和二十八年五月十日読売新聞社）、『或る細菌學者の回想』（
 昭和四十一年十一月二十日雪華社「科學者隨想叢書」）等。

